

2021年11月1日

パワーリフティング関係者各位

JPA 技術委員会
委員長 二宮正晴

技術委員会取り組み報告

平素は、JPA 技術委員会へのご協力、ご理解を頂きまして心より感謝申し上げます。
表題の件、下記の通りご報告させていただきます。

1. 技術委員会指針

- ① 国内審判人員の拡大及び地方協会の活性化 ② 国内審判員のレベルアップ（資質向上）

2. 活動実績・結果

<2020年度>

① 3級審判講習会・試験

9月27日 福岡県協会にて実施 受験10名 合格10名

新型コロナウイルス感染予防の為、3級審判講習会・試験は1回開催のみ

② 3～2級試験 受験4名 合格4名

③ 2～1級試験 受験3名 合格3名

<2021年度>

① 3級審判講習会・試験

4月11日 兵庫県協会にて実施 受験11名 合格11名

8月29日 東京都協会にて実施 受験19名 合格18名

9月4日 JPA主催web実施 受験30名 合格30名

新型コロナウイルス感染予防の為、3級審判講習会・試験は1回開催のみ

② 3～2級試験 受験2名 合格2名

③ 2～1級試験 受験2名 合格4名

3. 今後の取り組み

「1. 技術委員会指針」を骨子として、国内各ブロック単位での3級審判員講習会及び2級審判員試験の実施、ブロック技術委員長単位での取り組みを継続、JPA 技術委員会として次の取り組みを実施して更なる強化体制を図って行く。

- ① 3級審判員試験及び、3級審判員資格付与（レポート提出による合否）・・・年間2回
② 全国審判員のレベル底上げ及び、全体レベルの標準化と向上・・・・・・・・年間2回
③ 国際審判員受験及び、国際大会審判員派遣の推進・・・・・・・・・・・・・随時

※新型コロナウイルス対策が不要となった段階より

4. 技術委員会の取り組みへのご理解

私が、技術委員会委員長を拝命して、早くも3年の月日が経とうとしています。

これまでの様々な取り組みが、皆様のご支援ならびにご理解が得られてきたことをこの場をお借りして深くお礼申し上げます。

さて今回、特に、関係各位にご理解頂きたいことは、技術委員会、審判員のガバナンスに関する事です。

大会中、選手の試技を適正にジャッジし、かつ、選手の記録と順位を左右する試技判定をする立場の審判員は、皆に対して平等、公平でなくてはなりません。

特に、我々技術委員会は、審判員を束ねる立場である為、選手との写真撮影拒否や、日頃とは異なる不愛想な対応になる事が御座います。

これも、選手を平等、公平に扱い、かつ、審判員としての資質を向上させる為の取り組みの一環となりますので、引き続き皆様のご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

以上、宜しくお願い致します。